

令和3年度 入学式式辞

ただいま入学を許可された新入生の皆さん、またご列席いただきました保護者の皆様、入学おめでとうございます。皆さんを心から歓迎いたしたいと思えます。

新入生の皆さん、皆さんは、中学校3年生の1年間は、コロナ禍で、非常に困難の中、高校受験を経験し、本日入学を許可されました。今、皆さんの心の中は、とても晴れやかな、そして希望に満ちた思いで一杯だろうと思えます。皆さんを支え、育ててくれた保護者の方々も、皆さんのいっそうの活躍を、心から期待しておられることでしょう。

新入生の皆さんに、今日はこれから、高校生として何を大切にしていかなければならないのかについて、四点、お話しすることにします。

一つめは「自分から進んで学ぶ」という気持ちを常に持ってほしいということです。高校は義務教育ではありません。また、高校の勉強は中学校より難しくなります。授業を大切に、わからないことをそのままにしないように、全力で集中して、授業を受ける習慣を身につけてください。

二つめは、相手の気持ちを考えて行動することを、身につけてほしい、ということです。学校はたくさんの人間が存在する一つの社会です。それぞれの社会にはそれぞれのルールや習慣があります。自分だけではなく友だちも気持ちよく学校生活が送れるよう、自分のわがままをおさえていく必要があります。自分の態度や行動が学校生活にとってプラスの方向に動いているかをよく考えて、人の気持ちがわかる、人の役に立てる、人から信頼されるように努力をしてください。

三つめは、自分を大切にしてほしいということです。自分をたいせつにするということは、文字通り「自分の命や、健康をたいせつにする」ということですが、「ありのままの自分を好きになる」とか、「頑張った自分を誇りに思う」、というように、考えることもできます。いうまでもありませんが「自分さえよければいい」ということではありません。

そして四つ目は、責任、についてです。皆さんは自分の意思でりんくう翔南高校を選んで、受験し、合格し、このりんくう翔南高校で学ぶ権利を得て、入学した、ということです。この権利には「責任」が伴います。高校では自分の行動に責任を持たなければならない、ということを忘れないでください。

最後になりましたが、保護者の皆様に申し上げます。生徒のみなさんが、自主的に行動し、社会に貢献する人間として成長することは、皆様と私たち教職員の共通の願いであります。

私たち教職員一同は、お子様をお預かりした以上、精一杯の努力を行なう覚悟でございます。ただ、そのためには、保護者の皆様のご支援が必要でございます。

高校生活では、初めてのことに直面し、お子さまがとまどい、時には不満を口にするこゝともあると存じます。そのような時はお子さまの成長のタイミングです。保護者の皆様の、あたたかい見守りが、なによりもお子さまの励ましになると思えます。ぜひとも本校の教育方針に十分ご理解を賜り、ご協力いただけるようお願いいたします。

以上、今日から始まる、新入生の皆さんの高校生活が、豊かで、実り多いものであることを祈念いたしまして、新入生を歓迎することばといたします。

令和3年4月8日

大阪府立りんくう翔南高等学校長 長岡一久